

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	経過記録が単調となり、利用者様の言動の記載が少ない。利用者様の願望や思いを聞き逃している可能性あり。	利用者様とのコミュニケーションを大切に、利用者様の表情や言動・行動からお一人お一人の思いや願いを知る。	利用者様の表情や言動・行動を具体的に経過記録に記載して、スタッフ間で情報を共有し、利用者様の思いや意向を共に考えながら、日々の支援に活かす。	6ヶ月
2	33	利用者様が年々高齢となり、介護度も高く、様々な疾患を抱えている。病状が重度化する事も十分に考えられるが、看取り等の終末期の話については家族と話し合う場がほとんど持っていない。	利用者様の病状について把握し、重症化した場合の対処や終末期の支援について本人の希望や家族の意向を知る。	ご家族様の面会時等の時間を利用し、利用者様の状況について随時お伝えする。その中で話し合う場を設け、緊急時や重症化した場合の対応について意向を確認する。その情報をスタッフ、主治医が共有し、チームで終末期や看取りの支援に取り組む。	12ヶ月
3	53	重度の(要介護4～5)利用者様がが多く、外出支援をする機会が少ない。	利用者様のご希望に沿って、天候や体調を考慮しながら、散歩や日向ぼっこ、ドライブ等の外出支援を充実させる。	認知機能の低下や脳梗塞等の麻痺症状により自身の思いを伝える事が困難な利用者様が多いが、言葉掛けを積極的に行い、表情等から本人様の外出に対する思いを知る。重度の利用者様にも施設外で気分転換して頂けるよう支援する。	6ヶ月
4	21	重度の利用者様が増えており、利用者様同士の関りが少ない。	利用者様同士の関係を把握し、関わり合いが増えるよう支援する事で、一人一人が孤立せず支え合いながら過ごせる環境を作る。	日々の利用者様全員の様子を把握し、言語的コミュニケーションが困難な利用者様が孤立する事なく、他の利用者様との関わりが持てるよう、共にレクリエーションや作業をする場を設けたり、スタッフが間に入って一緒に会話する等の支援を行う。	3ヶ月
5	19	ご本人の通院や散髪等への外出の支援には協力して頂いているが、施設の行事等へのご家族様の参加が少なく、ご本人様とご家族様、スタッフが共に交流する場が少ない。	面会以外でも、ご家族様と交流する機会を持つ事で、本人様、ご家族様、施設スタッフの三者の絆を深める。	面会時にスタッフとご家族様で話をする場を少しでも多く設けるようにする。また、利用者様の誕生会等の行事をあらかじめご家族様にお便り等でお知らせし、参加を促す事で、共に過ごす機会を持つ事が出来るように努める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。